

---

日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会  
第 199 回 耳鼻咽喉科・頭頸部外科  
学術講演会

---

2022 年 6 月 25 日（土曜日）午後 2 時 30 分より

神奈川県総合医療会館 7 階講堂（集合開催）

担 当

東 海 大 学

会 長 大上 研二

## 開会の辞

### ◆第1群 (14:30~15:10) 座長 小田桐 恭子

#### 1. 問診票を用いた口蓋裂児に対する鼓室換気チューブ留置術の時期の検討

小宅 功一郎、小林 斉、甘利 泰伸、泉本 彩、勝見 真有、宮地 理瑛、井島 貴宏、  
小川 誉史、手口 翔太、三好 直人、川崎 正義、工藤 建人、日比 裕之、宇留間 周平、  
今泉 直美、井上 由樹子、志村 智隆、池谷 洋一、野垣 岳稔  
(昭和大学藤が丘病院)

#### 2. 当科における慢性穿孔性中耳炎に対する最近の術式選択について

峯川 明、家坂 辰弥、吉川 沙耶花、喜多村 健、石田 克紀  
(茅ヶ崎中央病院)

#### 3. 外耳道癌が疑われた外耳道異物の一例

井澤 瞳美、山田 浩之、和泉 光倫、石川 雄惟  
(けいゆう病院)

#### 4. 耳小骨限局性に IgG4 陽性形質細胞浸潤を認めた 1 症例

勝見 真有、小林 斉、野垣 岳稔、池谷 洋一、志村 智隆、小宅 功一郎、今泉 直美、  
井上 由樹子、宇留間 周平、上村 佐和、甘利 泰伸、工藤 健人、日比 裕之、川崎 正義、  
三好 直人、井島 貴弘、小川 誉史、手口 翔太、宮地 理瑛  
(昭和大学藤が丘病院)

### ◆第2群 (15:10~15:50) 座長 金田 将治

#### 5. 鼻中隔に生じた神経鞘腫の 1 例

田村 昌也、松本 崇、山下 拓  
(北里大学病院)

#### 6. 副鼻腔真菌症および副鼻腔原発悪性リンパ腫を合併した一例

田中 祥子、中山 梨絵、高原 美希、猪狩 雄一、重富 征爾  
(川崎市立川崎病院)

#### 7. ドレナージ方法を工夫した鼻中隔膿瘍の 1 例

山崎 有朋、寺邑 堯信、金田 将治、齋藤 弘亮、五島 史行、大上 研二  
(東海大学医学部附属病院)

#### 8. 真菌感染による鼻涙管膿瘍の一症例

中筋 康太、徳留 卓俊、丸山 祐樹、寺崎 雅子  
(小田原市立病院)

◆第3群 (15:50~16:30) 座長 戎本 浩史

9. 診断に難渋した鼻腔髄膜腫の1例

岡野 洋平、剣持 新、中村 学、瀬尾 徹、小森 学

(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)

10. 高齢・高リスク患者の進行喉頭癌に対して6cm皮膚切開で喉頭全摘出術を施行した一例

逸見 真弘<sup>1)2)</sup>、中山 明仁<sup>2)</sup>、森 義明<sup>2)</sup>、百足 紘<sup>2)</sup>、古川 駿<sup>2)</sup>、相澤 圭洋<sup>2)</sup>、逆井 清<sup>2)</sup>  
折館 伸彦<sup>3)</sup>

(横浜市立みなと赤十字病院<sup>1)</sup>、横須賀共済病院<sup>2)</sup>、横浜市立大学附属病院<sup>3)</sup>)

11. glove finger flap techniqueで摘出し得た鼓室型グロムス腫瘍の一例

在原 理瑛、笹野 恭之、金山 友亮、赤羽 邦彬、多村 悠紀、川島 孝介、伊藤 友祐、  
齋藤 善光、小森 学

(聖マリアンナ医科大学病院)

12. 術後15年で腫瘍が再発した第一鰓裂性瘻孔の1例

村上 知聡、濱田 昌史、小田桐 恭子、大上 研二

(東海大学医学部附属病院)

休憩 (16:30~16:40)

◆特別講演 (16:40~17:20)

座長：大上 研二 (東海大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

『小児から高齢者まで皆が十分に聴覚を活用できる社会を目指す取り組み』

演者：東海大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 和佐野 浩一郎

閉会の辞

■講演注意事項■

◎講演8分、質疑応答2分

◎今回は、新型コロナウイルス感染防止対策をとりつつ、現地(集合)開催を予定しておりますが、開催方法に変更があった場合は、メールや地方部会ホームページでお知らせいたします。(リモートでの参加は不可)参加者は、同封しました「健康状態申告書」をご記載のうえ当日、受付にご提出願います。

◎演者は、神奈川県医学会雑誌に掲載800文字の抄録と会報掲載用の顔写真データを事前に下記のアドレスに送ってください。未提出の場合は題名のみ掲載となりますのでご了承ください。

jibika@kanagawa.med.or.jp (神奈川県地方部会事務局)

